



佐々木 康裕 | YASUHIRO SASAKI

Takram ディレクター 兼 ビジネスデザイナー

クリエイティブとビジネスを越境するビジネスデザイナー。デザインリサーチから、プロダクト・事業コンセプト立案、ローンチ・グロース戦略立案などを得意とする。複数の事業立ち上げ経験を持ち、ファイナンスにも精通。Takramでは、家電、自動車、運輸、通信、食品、医療、素材など幅広い業界でコンサルティングプロジェクトを手がける。著書に『D2C「世界観」と「テクノロジー」で勝つブランド戦略』(NewsPicksパブリッシング)がある。

Kesouは新しいトレンドに合致している

従来のビジネスは、大規模なブランド展開、大量生産による原価低減、限定商品やセール品による瞬間的な顧客獲得など、利益最大化を最重要視したものでした。そうしたスタイルに対するアンチテーゼとして、丸井グループがKesouという新しい試みに挑戦したことは非常にすばらしいと思います。

昨今、価格や品質だけでなく、「自分を満足させてくれるブランドなのか」が商品を購入する際の重要なポイントになってきています。例えば、ブランドの想いやストーリーに共感できるか、つくり手は誰か、環境に配慮しているかなどです。これはSNSなどにより情報の非対称性がなくなり、透明性が高まったことが背景にあります。Kesouは、この新しいトレンドにうまく合致していると思います。

利益最大化よりも顧客とのつながりがより重要になっていく中で、売れた靴の数で売上を計算するトランザクション型から、つながった人の数で売上を数値化するLTV(生涯利益)型へ、どのように移行するのか。つまり、「目の前の人にどう靴を売るかではなく、どうしあわせにするか」という考え方が大切になっていくのです。

顧客と長期的に信頼関係を構築するためには、デジタルは不可欠です。デジタルはインクルーシブなので、文字やビジュアル、映像などメディアを変えれば、多様な人々にアプローチすることができます。今後もKesouのストーリーを優しいデジタルに乗せて丁寧に届け、より多くの顧客とつながってほしいです。

外部有識者はKesouをいかに評価するか

D2C*やサステナビリティの分野で活躍する有識者の目には、Kesouはどのように映るのか。

デザイン・イノベーション・ファームTakramのディレクター 佐々木康裕氏と丸井グループサステナビリティ分野のアドバイザー小澤杏子氏からコメントが届きました。

* D2C: Direct to Consumerの略で、製造者がダイレクトに消費者と取引をするという意味



小澤 杏子 | KYOKO OZAWA

(株)丸井グループアドバイザー

2002年生まれ。高校時代にジュニア農芸化学会で銀賞などを受賞。ほかに学会誌『ATOMOS(アトモス)』での意見掲載などを果たす。2019年、(株)ユーグレナ初代CFO(Chief Future Officer: 最高未来責任者)に就任し、SDGsに関するアクション、および達成目標の策定にかかわる会議「ユーグレナFutureサミット」の運営に携わる。2021年、(株)丸井グループのサステナビリティ委員会メンバーおよびアドバイザーに就任。

履き心地を犠牲にしないサステナブルが魅力

(株)ユーグレナでの初代CFO就任時から、「消費者が意識せずとも環境に配慮した行動ができる仕組みづくり」を軸に、サステナビリティ分野で活動をしています。サステナビリティに対して、「意識の高い人だけが取り組んでいるもの」という印象があるのは、「無理すること」や「我慢すること」の上で成立させようとする構造がまだ残っているからだと思います。しかしKesouでは、履き心地を犠牲にせず、サステナビリティと両立しています。これはとてもすてきなことだと思います。

やはり、「無理のなさ」「サステナビリティ」「おしゃれ」これら3つの要素が揃って初めてブランドの魅力が生まれると思うのです。これを実現している既存ブランドの代表格に、Stella McCartney(ステラ マッカートニー)が挙げられます。アイコンックで存在感のあるおしゃれなバッグでありながら、ヴィーガンレザーを使用し、世界中で多くのファンの支持を得ています。消費者が、サステナブル商品だから購入するのではなく、おしゃれだと思って購入した商品が実はサステナブルだったと気づく、という流れになるように、商品自体の魅力をしっかり生み出すことはとても重要です。

そして、大企業である丸井グループには、ブランドの姿勢や考え方を、より多くの方に認知してもらうきっかけをつくる力があります。Kesouを筆頭に、より多くのコミュニティを巻き込んで、その中でポジティブな循環を生み出すような活動をどんどん進めていってけると信じています。